

「司法書士一発合格法」の著者による 合格(うか)るやさしい勉強法2021

田端 恵子

1. 司法書士試験の内容

午前の部 択一式35問

午後の部 択一式35問, 記述式2問(不動産登記法・商業登記法)

午前択一・午後択一・記述すべての基準点をクリアし, かつ, 合格点数をクリアすれば合格する試験

年によって基準点や合格点は異なるが, 択一は8割以上・記述は6割以上の得点が求められる

試験科目と出題数 ※ () は配点

午前択一 (105点)

憲法	民法	刑法	会社法
3問	20問	3問	9問

午後択一 (105点)

民事訴訟法	民事保全法	民事執行法	司法書士法	供託法
5問	1問	1問	1問	3問

不動産登記法	商業登記法
16問	8問

主要4科目・・・民法, 不動産登記法, 会社法, 商業登記法

マイナー科目・・・民事訴訟法, 民事保全法, 民事執行法, 供託法, 司法書士法,
憲法, 刑法

記述 (70点)

不動産登記法	商業登記法
1問	1問

近年の基準点および合格点

年度	基準点			基準点合計	合格点	必要な 上乗せ点
	午前	午後	記述			
31	75 (25問)	66 (22問)	32.5	173.5	197.0	23.5
30	78 (26問)	72 (24問)	37.0	187.0	212.5	25.5
29	75 (25問)	72 (24問)	34.0	181.0	207.0	26.0
28	75 (25問)	72 (24問)	30.5	177.5	200.5	23.0
27	90 (30問)	72 (24問)	36.5	198.5	218.0	19.5

2. 合格に必要なこと

(1) 挫折せずに勉強を続けること

講座を受講しても、途中で勉強をやめてしまう受験生がとても多いのが司法書士試験の特徴の一つ。合格するにはまず、全範囲の学習を挫折せずに消化することが不可欠。

(2) 「合格するための勉強」をすること

法律の学習はしようと思えば際限なくできてしまうが、範囲を広げることや知識を深めること＝合格に近づくわけではない（むしろ遠のく可能性もある）。闇雲に手を広げ、好きなだけ勉強するのは受験勉強ではなく趣味の勉強。司法書士試験に必要な勉強に力を注ぐこと。

(3) 知識の精度を上げ、維持すること

8割以上の正答を求められる試験なので、高い知識の精度を維持しなければならない。忘れないためには、繰り返すことと理由などを理解すること。また、繰り返すためには学習スケジュールを立てることも重要。

3. 挫折させない学習法「パーフェクトユニット」

勉強の流れ

①講義を受ける
②①に該当する過去問を解く
③テキストに戻って復習する

※最初の1周以降は②→③が原則、必要に応じて①講義を再度聴く

①講義を受ける

通常の講座	パーフェクトユニット方式
約3時間の講義。集中力が続かない。 民法第〇〇回というくりしかないので、1回で進む範囲が明確でない。中途半端なところで終わることもある。講義が長いので、問題を解くところまでなかなか進まない。	すべての講義が1回で完結するユニット制。 1時間なら集中できるし仕事と両立できる。 講義すべてのテーマが決まっているので、中途半端なページで終わることがなく、達成感も得られ、やる気が持続する。

②過去問を解く

通常の講座	パーフェクトユニット方式
解くべき過去問が指定されていない場合、自力で該当過去問を探すところから始めなければならず、解くまでに時間がかかる。 5肢掲載の問題集を使った場合、まだ勉強していない範囲の肢も混じっており、解くことができない。	テキストと過去問は完全リンク。肢別過去問集はテキストの過去問掲載欄と出てくる順まで基本的に統一し、該当ページを探す手間を解消。 また、復習講義の中で同一論点の過去問も伝えるので、理解できている過去問を少なく、理解できていない過去問を沢山解き、知識のムラをなくす勉強ができる。

③復習

通常の講座	パーフェクトユニット方式
過去問を解いても、どのように復習すればいいかわからない。テキストのどのページに載っていた論点なのか？正解しなければまずい問題なのか？がわからず、復習に時間がかかる。	全ユニットに約30分の復習フォロー講義を提供。一緒に復習する中で、肢の論点のポイントを話し、復習を完了。該当ページを長時間かけて一人で探す・論点のポイントを掴めないまま復習に何時間もかけるというムダを解消。

④学習スケジュール

通常の講座	パーフェクトユニット方式
講義についていくので精一杯で、気がつけば何か月も放置している科目が発生。 いざ2周目の勉強を始めても、わからない論点を講義のどの回で話していたかわからず、勉強が進まない。	1日1ユニットだから、受講で精一杯にならない。休みの日などを利用して2周目以降の勉強にすぐ手をつけられる。 1ユニットごとにテーマが決まっているので、わからない論点だけ講義を聴き直せる。

⑤記述式の勉強

通常の講座	パーフェクトユニット方式
基礎講座の場合、記述対策の講義がないor本試験合格レベルには程遠いオマケ的な演習のみで終わることが多い。いきなり本試験並みの問題（ex. 模試）を解いても全く解けない。	択一講義の後は、記述式対策30ユニット各30問。初学者でも解けるように予習講義も実施。担当講師の著書であるパーフェクトユニット記述式必修問題集60を使い、一気に本試験合格レベルへ。

【過去問は5肢選択式より肢別が◎】

（平成31年度司法書士試験 午前の部より）

第4問 成年に達したものとみなされていない未成年者に関する次のアからオまでの記述のうち、誤っているものの組合せは、後記1から5までのうち、どれか。

- ア 法定代理人が目的を定めずに処分を許した財産は、未成年者が自由に処分することができる。
- イ 意思表示の相手方がその意思表示を受けた時に未成年者であったときは、表意者は、その意思表示を取り消すことができる。
- ウ 未成年者は、後見人となることができない。
- エ 未成年者が認知をするには、その法定代理人の同意を要しない。
- オ 未成年者であっても、15歳に達していれば、遺言執行者となることができる。

1 アウ 2 アオ 3 イエ 4 イオ 5 ウエ

- ア ○ Unit1 権利能力，制限行為能力者Ⅰ（未成年者）
- イ × Unit6 意思表示Ⅲ
- ウ ○ Unit54 親子・親権
- エ ○ Unit54 親子・親権
- オ × Unit60 遺言

司法書士試験の問題は、1つの問題に様々な論点が混在していることが多いので、「未成年者」の部分の勉強をしても、「未成年者」をテーマにした過去問が解けないことなどが多い。

4. 今期のパーフェクトユニットの特徴

(1) 挫折させないフォロー制度を追加

(2) 社会人受験生を考慮したパックを新設

5. 講座選びで大切なこと

①好きな講師を選ぶ（予備校で選ばない）

②学習スケジュールをシミュレーションしてみる

どんなに優れた講座でも、自分が消化できなければ意味がないので、ご自身の生活で学習する時間や生活リズムを考えてみる。スケジューリングが全くできないと合格は難しい。

③口コミを探すより自分で見る

口コミしている人は自分とは違う他人だから、自分で見て、「自分がどう思うか？」で考える。

※講座か独学か？

独学の場合、負担となる作業は増える（テキストと過去問のリンク、法改正情報への対応等）。また、疑問点を質問する相手がないので、理解に時間がかかる可能性もある。講座受講には費用がかかるが、これらの負担がないものであれば価値がある。

田端恵子

平成24年 宅建士試験合格（受験回数1回），年末から司法書士試験の勉強開始

平成26年 司法書士試験合格（受験回数1回）

平成27年 司法書士登録，簡裁代理等関係業務認定

平成28年 司法書士試験受験指導開始

平成30年7月～ 「パーフェクトユニット方式一発合格田端基礎講座」

担当講座	パーフェクトユニット方式 一発合格田端基礎講座
著書	『パーフェクトユニット記述式必修問題集60』（辰巳法律研究所） 『パーフェクトユニット方式 田端恵子の記述問題集 必修問題30』 ①不動産登記法 ②商業登記法 （辰巳法律研究所） 『だからあなたを合格（うか）らせたい！司法書士一発合格法』 （すばる舎）
ブログ	「田端恵子 official」 http://keikopass.com/
Twitter	田端恵子（司法書士/講師） @tabata_keiko https://twitter.com/tabata_keiko